

日付チェック機能の説明および新元号対応について

1. Celavi-iWiz における日付チェック機能の概要

Celavi-iWiz の日付チェックは、プログラム作成時に日付チェック属性の指定をするだけで、フィールドの桁数(4桁～8桁)に従って年月日の範囲チェックを行う機能です。

桁数とチェック方法、有効範囲は以下のようになります。

フィールドの桁数	チェック方法	有効範囲
4	月(2桁)日(2桁)	月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28(2月 ^{※1})
5	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成) ^{※2} 年:01～45(明治) 01～15(大正) 01～64(昭和) 01～99(平成) 月:01～12
6	年(2桁)月(2桁)日(2桁)	年:00～99 月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28(2月 ^{※1})
7	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)日(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成) ^{※2} 年:01～45(明治) 01～15(大正) 01～64(昭和) 01～99(平成) 月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28または29(2月 ^{※3})
8	西暦年(4桁)月(2桁)日(2桁)	年:0100～9999 月:01～12 日:01～31(1,3,5,7,8,10,12月) 01～30(4,6,9,11月) 01～28または29(2月 ^{※3})

(※1)4桁と6桁の2月の範囲は、ジョブ情報画面の「日付」タブ設定で29日までになります。

(※2)5桁と7桁の元号の入力記号は、ジョブ情報画面の「日付」タブで設定します。

(※3)7桁と8桁の2月の範囲は、うるう年は自動的に29日までになります。

☆元号付き年月日(和暦)の有効範囲の詳細は以下の通りです。

- ・明治:01年09月08日から45年07月29日まで。
- ・大正:01年07月30日から15年12月24日まで。
- ・昭和:01年12月25日から64年01月07日まで。
- ・平成:01年01月08日から99年12月31日まで。

2. 日付チェックの設定方法

Celavi-iWiz の日付チェックがどのように設定されているか、設定方法をご説明します。

2-1. ジョブ情報画面の設定

- 1) インデックス画面を表示し、エントリーカタログを読み込みます。
- 2) 環境作成キーを押すか、メニューバーの「編集(E)」→「環境作成(P)」を選択して環境作成を開きます。

インデックス-aau79038
774(F) [E] 編集(E) 検索(S) 表示(V) ヘルプ(H)

MODEL/N

タイトル
カタログ名 HIDUKE 参照
ジョブ名 HIDUKE_
バッチ番号 枝番号 00
プログラム番号 001 レコード長 100
1バイトテーブル JISコード コメント
2バイトテーブル SJIS
エントリー終了時の出力先

総レコード数 : データ検査の終了 :
削除レコード数 : ベリファイ完了回数 :
挿入レコード数 : 作成可能件数(1.4MB当) :
作業時間

ヘルプ エントリ ベリファイ 参照 作業統計 オンライン入力 フォーマット 機能切替

- 3) 環境作成画面で、F2(ジョブ情報)キーを押して、ジョブ情報画面を開きます。

環境作成-aau79038
774(F) [E] 表示(V) ヘルプ(H)

カタログ名 : HIDUKE
タイトル :
コメント :

ヘルプ ジョブ情報 入力フォーマット コンバート オンラインロード 開く 保存 削除 終了 機能切替

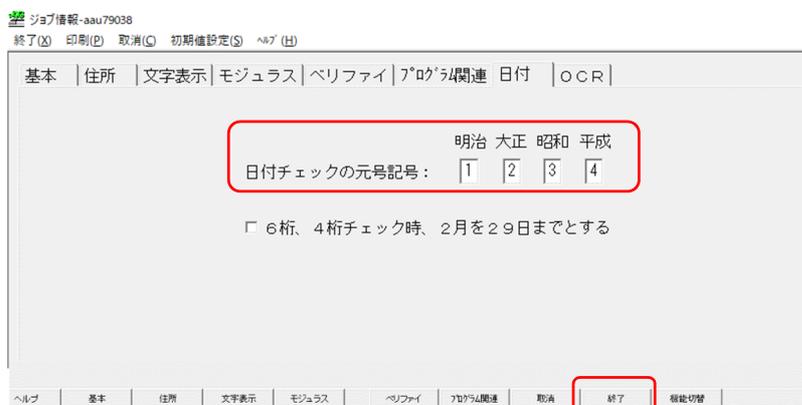
3) ジョブ情報画面で、「日付」タブを開きます。



4) データ仕様に合わせて元号の入力記号を変更出来ます。

例) M・T・S・T を 1・2・3・4 に変更

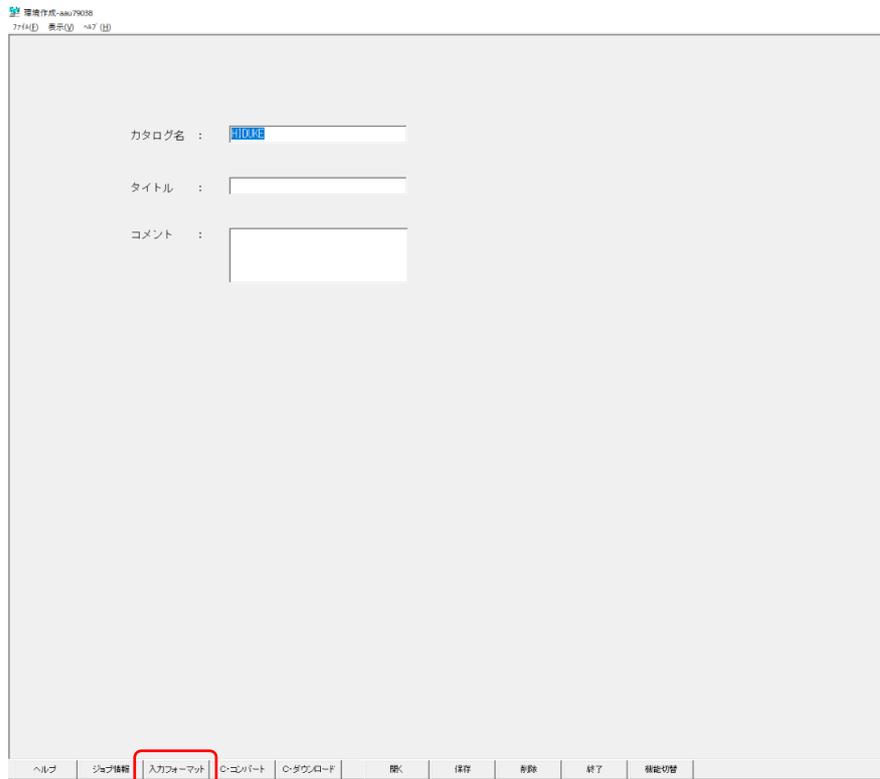
5) F9(終了)キーを押して、環境作成画面に戻ります。



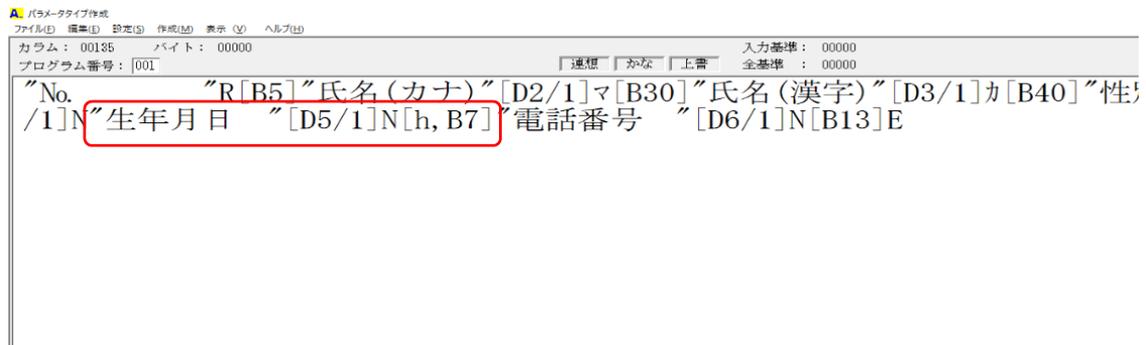
2-2. 入力フォーマットの設定

2-2-1. パラメータタイプの場合

1) 環境作成を開き、F3(入力フォーマット)キーを押して、入力フォーマット画面を開きます。



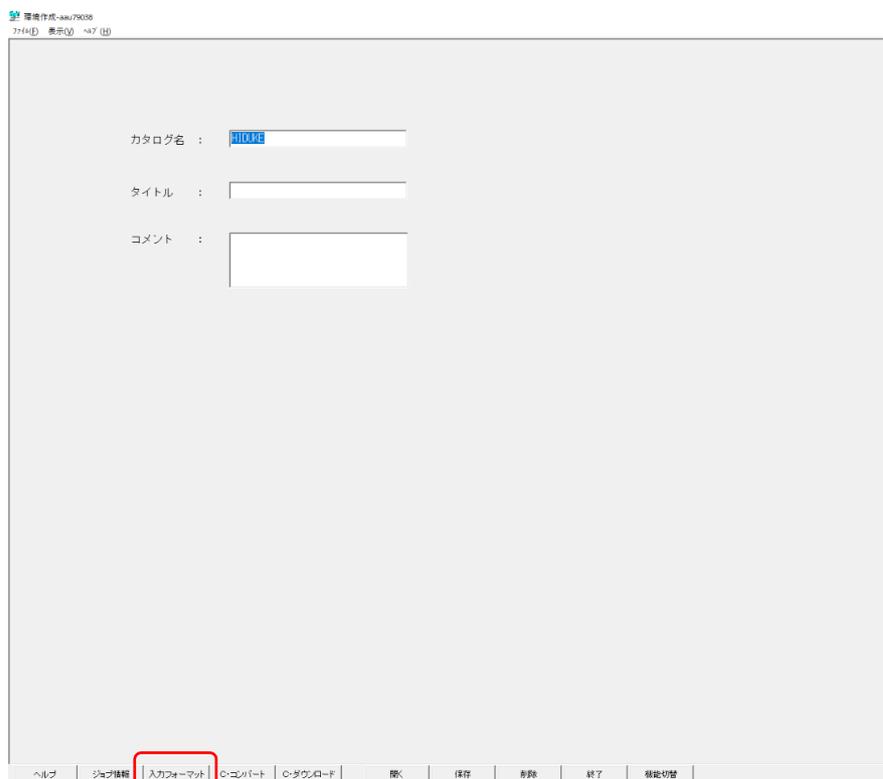
2) 日付チェックしたいプログラム番号を参照し、該当のフィールドに、フィールド制御[h]を指定します。
例では、7桁の生年月日フィールドに日付チェックを指定してあります。



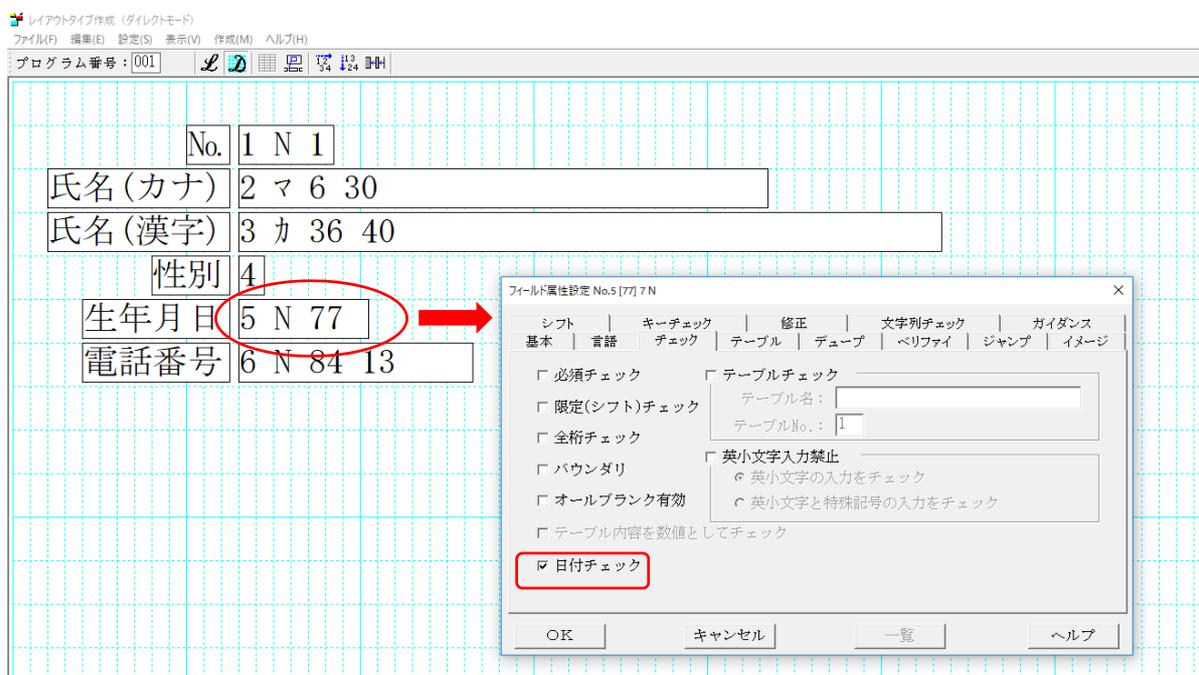
3) プログラム登録、カタログの保存を行い完了です。

2-2-2. レイアウトタイプの場合

1) 環境作成を開き、F3(入力フォーマット)キーを押して、入力フォーマット画面を開きます。



2) チェックしたいプログラム番号を参照し、該当のフィールドの属性画面を開き、[チェック]タブの「日付チェック」をチェックします。



3) プログラム登録、カタログの保存を行い完了です。

3. 新元号対応について

2019年5月から施行される新元号の対応として、上記で説明した日付チェック機能に新元号を追加すると共に、平成の有効範囲を、平成31年4月30日までとします。

3-1. ジョブ情報画面の変更

ジョブ情報画面の[日付]タブに、新元号の記号欄を追加します。

ジョブ情報-aau79038
終了(X) 印刷(P) 取消(C) 初期値設定(S) ヘルプ(H)

基本	住所	文字表示	モジュール	ベリファイ	プログラム関連	日付	OCR
----	----	------	-------	-------	---------	----	-----

明治 大正 昭和 平成 **新元号**

日付チェックの元号記号: M T S H

6桁、4桁チェック時、2月を29日までとする

3-2. 平成の有効範囲の変更

5桁と7桁の有効範囲は以下のようになります。(新元号が未定なので記号を?で表しています)

フィールドの桁数	チェック方法	有効範囲
5	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成)、?(新元号) 年:01~45(明治) 01~15(大正) 01~64(昭和) 01~31(平成) 01~99(新元号) 月:01~12
7	元号(1桁)年(2桁)月(2桁)日(2桁)	元号:M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成)、?(新元号) 年:01~45(明治) 01~15(大正) 01~64(昭和) 01~31(平成) 01~99(新元号) 月:01~12 日:01~31(1,3,5,7,8,10,12月) 01~30(4,6,9,11月) 01~28または29(2月)

☆元号付き年月日(和暦)の有効範囲の詳細は以下の通りです。

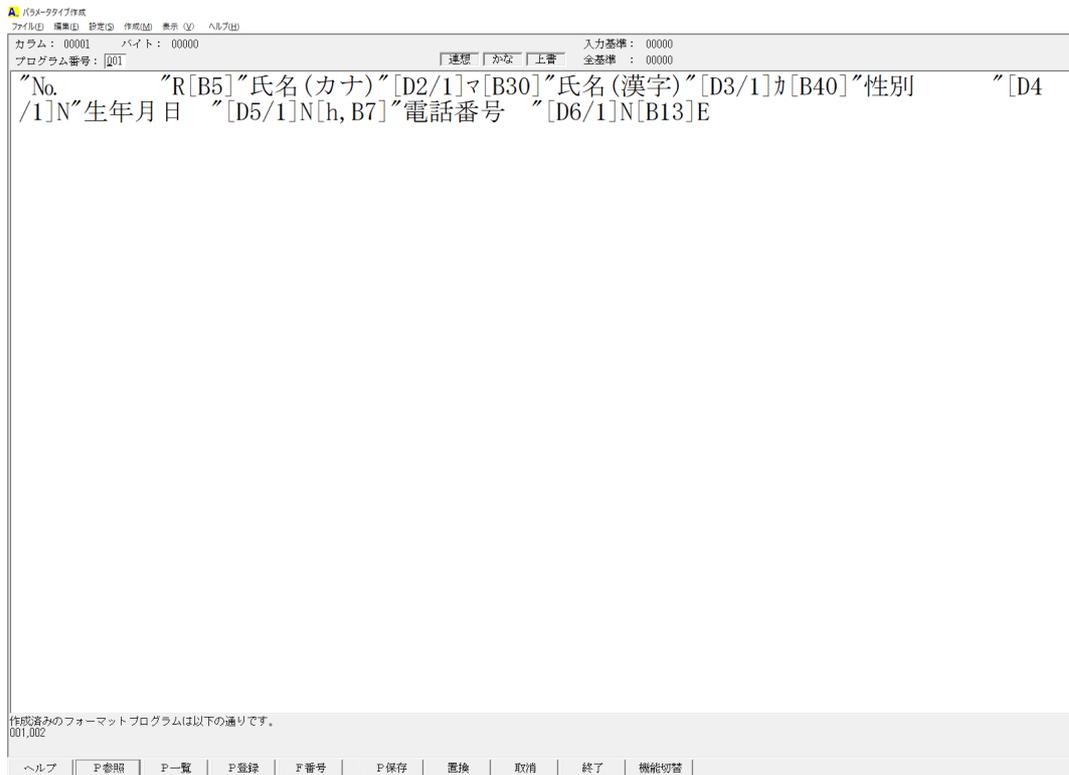
- ・明治:01年09月08日から45年07月29日まで。
- ・大正:01年07月30日から15年12月24日まで。
- ・昭和:01年12月25日から64年01月07日まで。
- ・平成:01年01月08日から31年04月30日まで。
- ・新元号:01年05月01日から99年12月31日まで。

4. 日付チェック機能使用状況の確認方法

日付チェック機能を使用しているかは、エントリーカタログを1つずつ開いて確認するしか方法がありません。

4-1. パラメータタイプの場合

インデックス画面でエントリーカタログを読み込み後、入力フォーマットを開き、プログラムを参照して、フィールド制御[h]を使用しているフィールドがあるかを確認します。

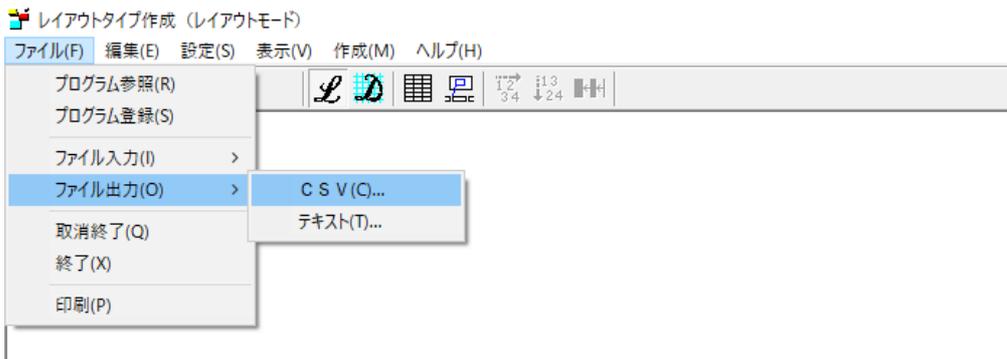


4-2. レイアウトタイプの場合

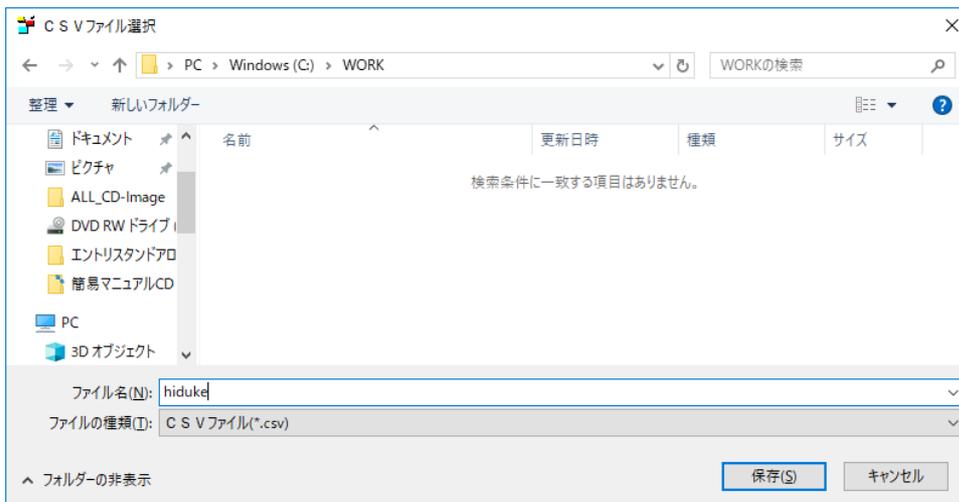
パラメータタイプ同様、1つずつプログラムを参照して属性を開いて確認するか、入力フォーマットをファイル出力して、Excel で確認する方法があります。ファイル出力の方法を以下に記載します。

4-2-1. 入力フォーマットのファイル出力方法

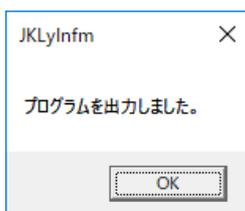
- 1) エントリーカタログを読み込み後、入力フォーマットを開きます。
- 2) メニューバーの「ファイル(F)」→「ファイル出力(O)」→「CSV(C)」を選択します。



- 3) 任意の保存場所を指定して、ファイル名を指定し保存します。



- 4) 「プログラムを出力しました」と表示したら OK します。



- 5) 入力フォーマット画面を終了します。

4-2-2. Excel での確認方法

- 1) 上記でファイル出力した入力フォーマットのファイルを Excel で開きます。(拡張子が CSV なので、通常ダブルクリックすると Excel で開きます。)
- 2) 入力フォーマットの内容が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1			80			1	0									
2	PRG001															
3	N	52	96	251	356	1	5			1			0			
4	マ	100	144	251	831	6	30									
5	カ	148	192	251	1021	36	40									
6	N	196	240	251	280	76	1									
7	N	244	288	251	394	77	7									
8	N	292	336	251	508	84	13									
9	"	52	96	194	242			2 No					0			
10	"	100	144	42	242			10 氏名(カナ)					0			
11	"	148	192	42	242			10 氏名(漢字)					0			
12	"	196	240	156	242			4 性別					0			
13	"	244	288	80	242			8 生年月日					0			
14	"	292	336	80	242			8 電話番号					0			
15	PRG002															
16	N	52	96	251	356	1	5			1			0			
17	マ	100	144	251	831	6	30									
18	カ	148	192	251	1021	36	40									
19	N	196	240	251	280	76	1									
20	N	244	288	251	394	77	7									
21	N	292	336	251	508	84	13									
22	"	52	96	194	242			2 No					0			
23	"	100	144	42	242			10 氏名(カナ)					0			
24	"	148	192	42	242			10 氏名(漢字)					0			
25	"	196	240	156	242			4 性別					0			
26	"	244	288	80	242			8 生年月日					0			
27	"	292	336	80	242			8 電話番号					0			
28																
29																
30																
31																

- 2) AE列(31列目)に“1”が出力されていれば、日付チェックを使用しています。

	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ
1																
2																
3																
4											1					
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31											1					

5. 日付チェック機能以外で、和暦を扱っているプログラムについて

Celavi-iWiz 標準の日付チェック機能以外の方法で、入力時のチェックや、データ出力時の変換などで和暦を扱っているプログラムについては、お客様ご自身で修正をお願いいたします。

和暦を使用しているプログラム数の洗い出しなど、早めのご準備をお願いいたします。

以下に、いくつかのプログラム例を記載します。

5-1. 例1 テーブルチェックによる元号チェック

1) 1桁のフィールドで元号のチェックをしている場合

No.	00001
氏名(カナ)	ジューキ
氏名(漢字)	重機
性別	1
生年月日	31215
電話番号	

2) パラメータタイプの入力フォーマットでは、フィールド制御[Tn]を指定し、テーブルチェックを作成しています。 (n...テーブルNo.)

入力フォーマット画面で、F10(機能切替)→F2(テーブル定義)を開き、チェックテーブル名の作成を押し、該当のテーブルNo.に有効にするチェックデータを追加します。

入力フォーマット画面の例:

```
"No." "R[B5]" "氏名(カナ)" "[D2/1]マ[B30]" "氏名(漢字)" "[D3/1]カ[B40]" "性別" "[D4/1]N" "生年月日" "[D5/1][A[T1]]" "電話番号" "[D6/1]N[B13]E
```

チェックテーブル作成 - (HIDUKE) の画面:

No.	チェックデータ
0001	既
0002	既
0003	既
0004	既
0005	既
0006	既
0007	既
0008	既
0009	既
0010	既
0011	既
0012	既
0013	既
0014	既
0015	既

有効データを追加

5-2. 例2 文字列チェックによる元号チェック

1) 1桁のフィールドで元号のチェックをしている場合

エントリ: aa079038 (HID/KE_000101_00)
7桁ID 編集ID 検索ID 表示ID タイプID *47 ID
P001 R000001 B00077 F0005 C00057 英字 日付: A T 連想 かな 上書

No.	00001
氏名(カナ)	ジューキ
氏名(漢字)	重機
性別	1
生年月日	S 131215
電話番号	

2) レイアウトタイプの入力フォーマットでは、フィールド属性の[文字列チェック]タブを開き、入力許可欄に、有効にする記号を追加します。

レイアウトタイプ作成 (ダイレクトモード)
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) 作成(M) ヘルプ(H)
プログラム番号: 001

No.	1 N 1
氏名(カナ)	2 マ 6 30
氏名(漢字)	3 カ 36 40
性別	4
生年月日	5 6 N 78
電話番号	7 N 84 13

フィールド属性設定 No.5 [77] 1 N

基本 | 言語 | チェック | テーブル | デュープ | ベリファイ | ジャンプ | イメージ
シフト | キーチェック | 修正 | 文字列チェック | ガイダンス

入力許可: M,T,S,H," _

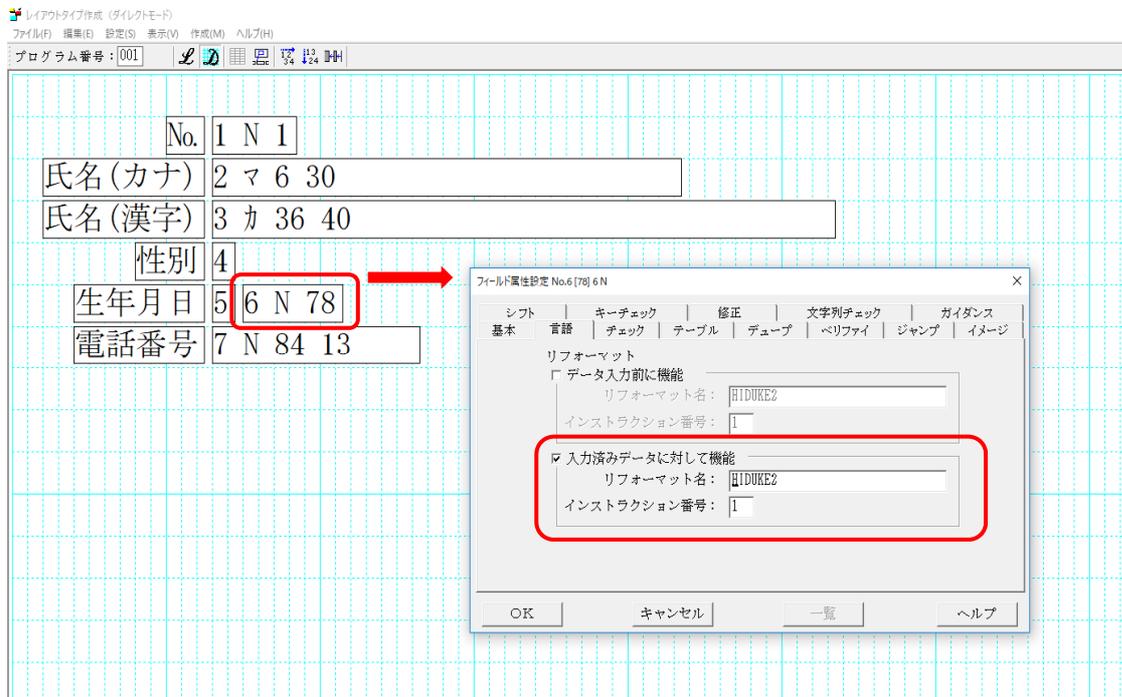
入力禁止:

入力許可文字
を追加

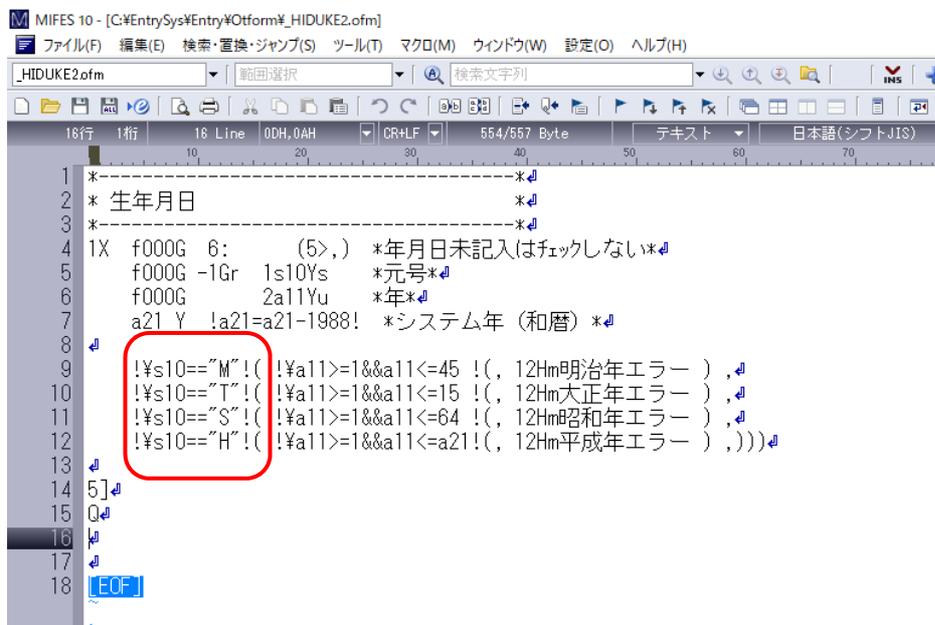
OK キャンセル 一覧 ヘルプ

5-3. 例3 リフォーマット言語による年月日のチェック

1) フィールド属性の[言語]タブで、リフォーマット名とインストラクション番号を確認します。



2) リフォーマットを開き、元号による処理があれば、処理を追加します。



5-4. 例4 メディアコンバート(出力)時のデータ置換

メディアコンバート(データ出力時)に和暦を扱う場合もあります。

The screenshot shows the MIFES 10 interface. On the right, the 'メディアコンバート - [JUKI2-3SOUT]' dialog box is open, with the 'リフォーマット(E)...' button highlighted. The dialog shows input and output media settings. On the left, the main window displays a script with various commands. A red arrow points from the dialog's 'リフォーマット(E)...' button to the script content. A red box highlights a section of the script, and a callout bubble explains the conversion of Japanese dates to Western dates.

データ出力時に和暦を西暦に変換

```

40 *-----*
41 * 7桁年月日→区切り編集 *
42 * 和暦を西暦に変換する *
43 * 例)9520601→1977/6/1 *
44 * 4271003→2015/10/3 *
45 * 5081231→2008/12/31 *
46 * オールファンク→ *
47 *-----*
48 9X Sc !s91=s01! !s92Yt !a91=1! s02St *ANK後入^~ストリ*
49 !%a92=0!( ,
50 Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=1! !a93=1! s03Sm *先頭1桁抽出*
51 Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=2! !a93=2! s02Sm *2桁目~2桁(年)抽出*
52 !a02=s02! *数値代入*
53 !%s03=="M"!(!a02=a02+1867!, *明治*
54 !%s03=="T"!(!a02=a02+1911!, *大正*
55 !%s03=="S"!(!a02=a02+1925!, *昭和*
56 !%s03=="H"!(!a02=a02+1988!, *平成*
57 !s02=a02! *文字列代入*
58 s02Is 1P/ !a01=a01+5! *出力後/挿入*
59
60 Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=4! !a93=2! s02Sm *5桁目~2桁(月)抽出*
61 Sc !s91=s02! !s92Yt !a91=1! s02St *入^~ストリ*
62 Sc !s91=s02! !s92Yt0 !a91=2! s02St *前0トリ*
63 s02Is 1P/ !a01=a01+a92+1! *出力後/挿入*
64
65 Sc !s91=s01! !a91=0! !a92=6! !a93=2! s02Sm *7桁目~2桁(日)抽出*
66 Sc !s91=s02! !s92Yt !a91=1! s02St *入^~ストリ*
67 Sc !s91=s02! !s92Yt0 !a91=2! s02St *前0トリ*
68 s02Is !a01=a01+a92! *出力*
69
70
71

```

以上